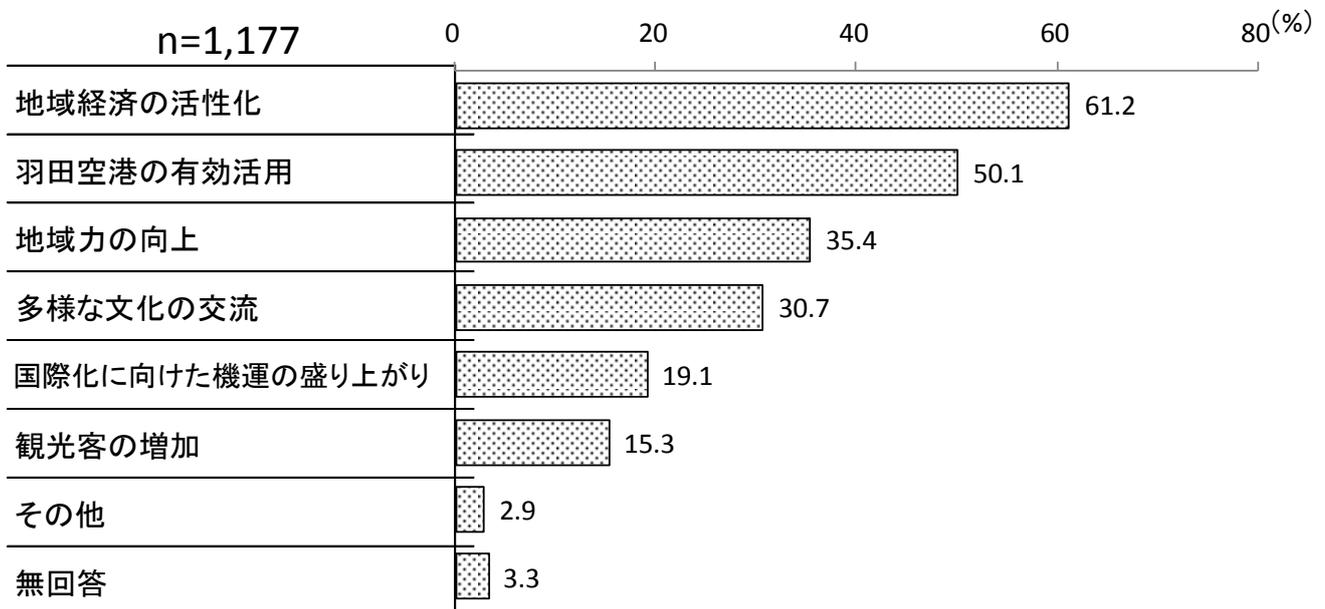


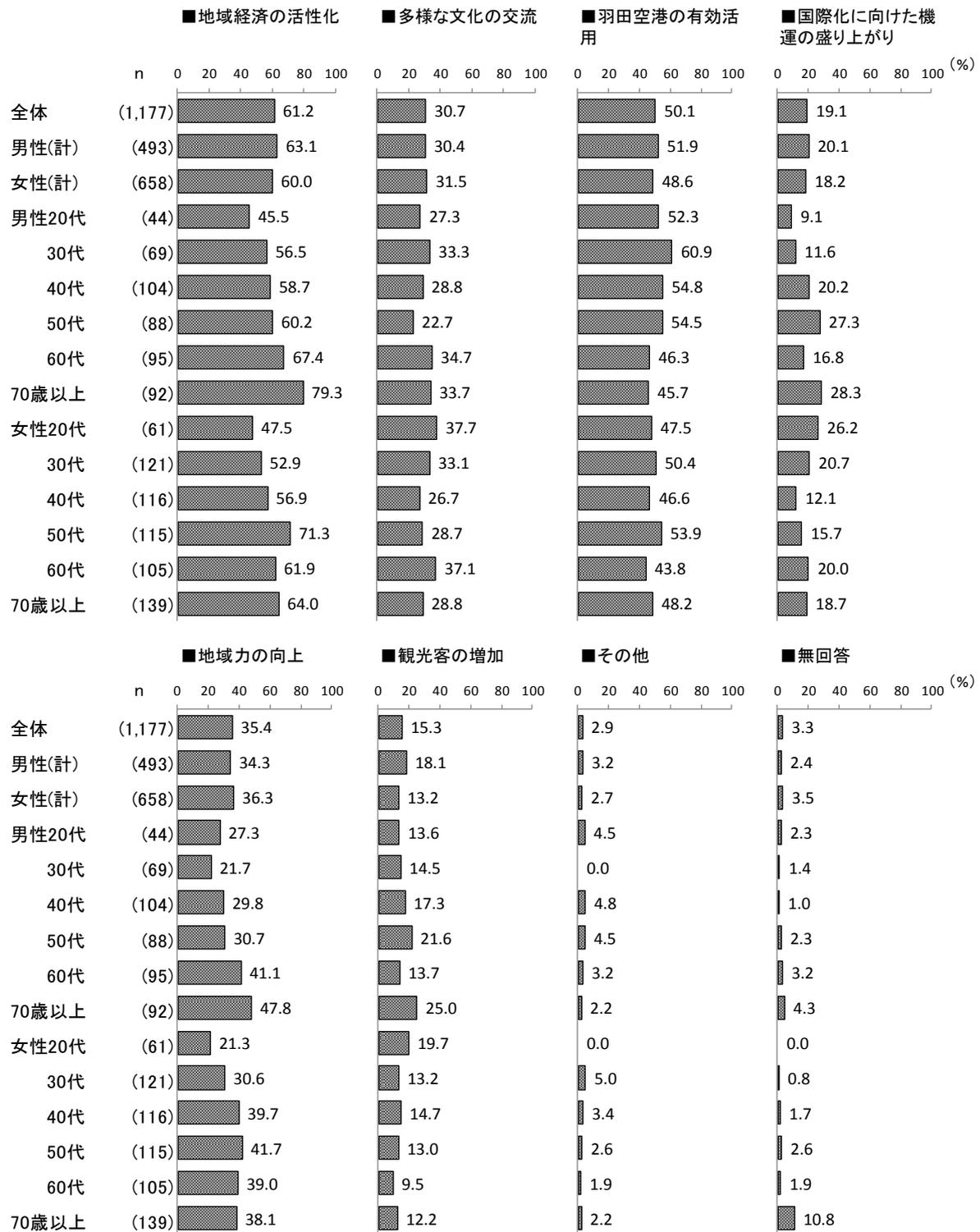
10 国際化推進

問17 大田区が行う「国際都市おおた」の実現に向けた取り組みにより、どのような効果を期待しますか。(〇はいくつでも)



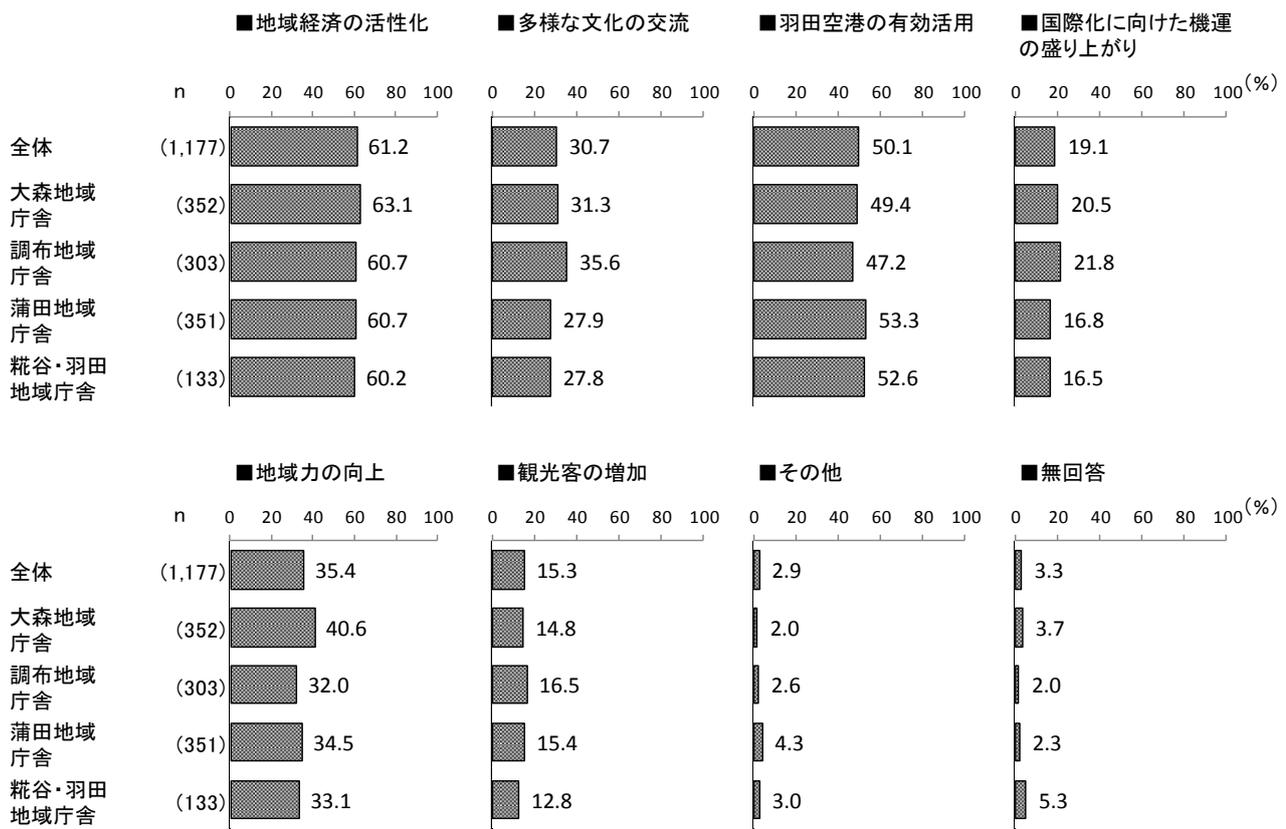
- ・全体で見ると、「地域経済の活性化」が61.2%と最も高い割合となっている。次いで、「羽田空港の有効活用」(50.1%)、「地域力の向上」(35.4%)、「多様な文化の交流」(30.7%)の順となっている。

【「国際都市おおた」の実現に向けた取り組みにより期待する効果×性／年代別】



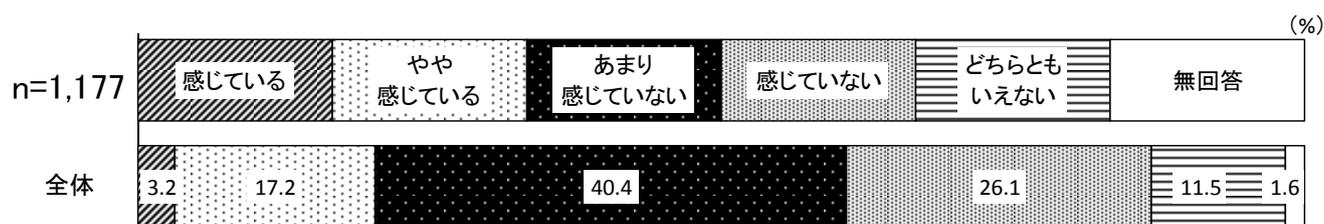
- ・性別にみると、「地域経済の活性化」では男性（計）が 63.1%と女性（計）60.0%に比べ 3.1 ポイント、「羽田空港の有効活用」では男性（計）が 51.9%と女性（計）48.6%に比べ 3.3 ポイント、「観光客の増加」では男性（計）が 18.1%と女性（計）13.2%に比べ 4.9 ポイント高い割合となっている。
- ・年代別にみると、男性 70 歳以上では「地域経済の活性化」が 79.3%、30 代では「羽田空港の有効活用」が 60.9%と他の年代に比べ高くなっている。「地域力の向上」では 70 歳以上で 47.8%と 4 割台後半となっている。一方、20 代では「国際化に向けた機運の盛り上がり」が 9.1%と他の年代に比べ低い割合となっている。
- ・女性の 20 代で「多様な文化の交流」が 37.7%と、他の年代に比べ高い割合となっている。一方、「地域力の向上」では 20 代で 21.3%と他の年代に比べ低い割合となっている。

【「国際都市おおた」の実現に向けた取り組みにより期待する効果×地域庁舎管内別】



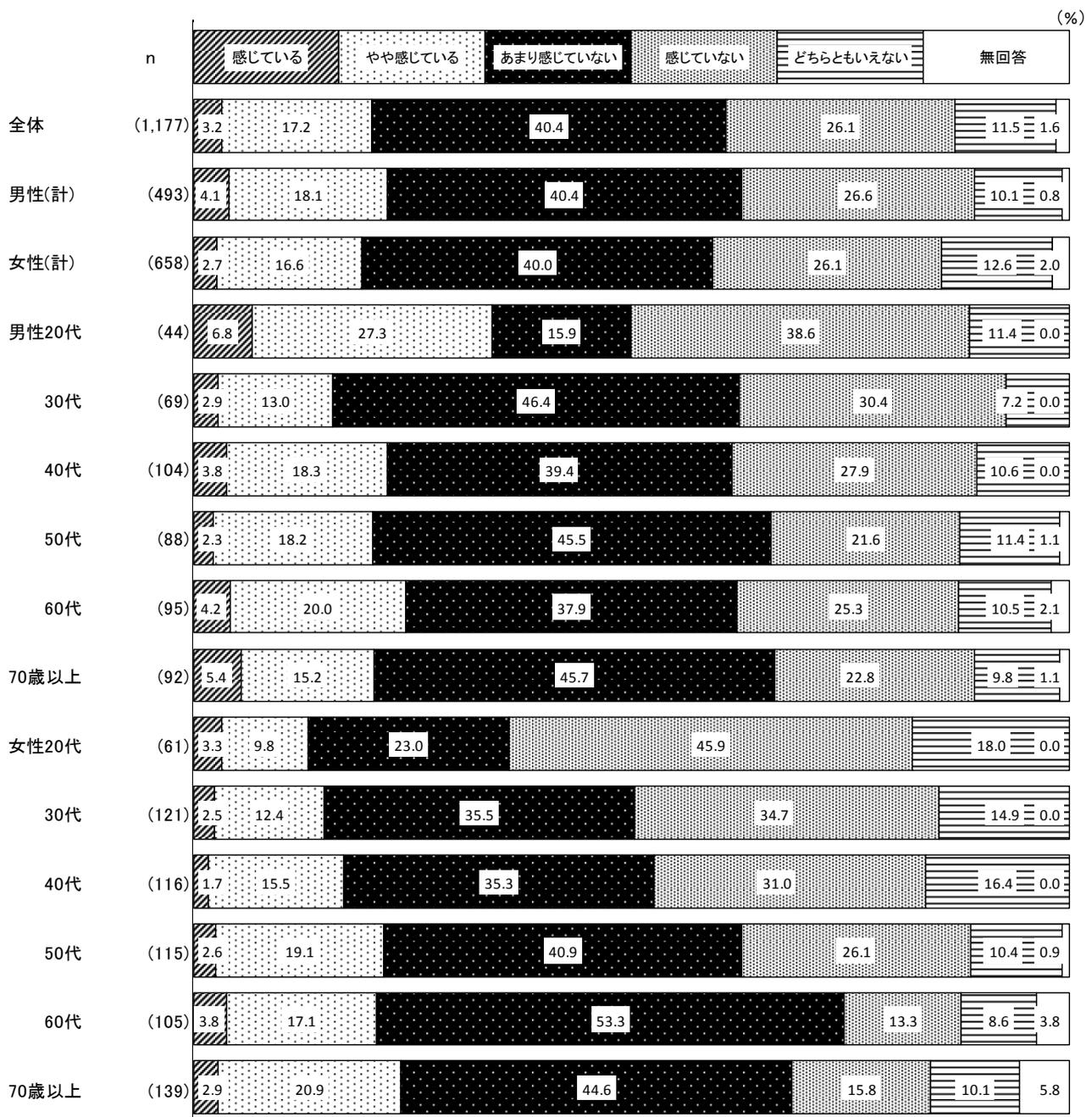
- ・ 地域庁舎管内別にみると、「多様な文化の交流」では調布地域庁舎管内が 35.6%と、他の地域庁舎管内に比べ割合が高くなっている。また、「地域力の向上」では大森地域庁舎管内が 40.6%と、他の地域庁舎管内に比べ割合が高くなっている。

問 18 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じていますか。(〇は1つ)



- 全体で見ると、「あまり感じていない」が40.4%と最も高い割合となっている。次いで、「感じていない」(26.1%)、「やや感じている」(17.2%)、「感じている」(3.2%)の順となっている。
- 「感じている」と「やや感じている」を合わせた、『国際交流、多文化共生が進んでいる(計)』と感じている人は20.4%と約2割となっており、「あまり感じていない」と「感じていない」を合わせた『国際交流、多文化共生が進んでいない(計)』と感じている人は66.5%と6割台半ばを超えている。
- 今回調査では「どちらともいえない」という選択肢が新たに加えられていることに留意は必要だが、前回調査と比べて『国際交流、多文化共生が進んでいる(計)』と感じている人は22.5%から20.4%と減少している。一方、「あまり感じていない」と「感じていない」を合わせた『国際交流、多文化共生が進んでいない(計)』と感じている人は74.6%から66.5%と減少している。

【国際交流、多文化共生が進んだまちと感じている×性／年代別】



- ・性別にみると、「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている (計)』という人は、男性 (計) が 22.2%と女性 (計) 19.3%に比べ 2.9 ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、男性 20 代では「やや感じている」が 27.3%と他の年代に比べ割合が高く、『感じている (計)』という人も 34.1%と 3 割台半ば近くとなっている。
- ・女性 20 代では「感じていない」が 45.9%、60 代で「あまり感じていない」が 53.3%と他の年代に比べ割合が高くなっている。『感じていない (計)』はいずれの年代でも約 6 割～7 割となっている。